

伊達信用金庫の環境への取組みについて

【ビジネスカジュアルの導入】

これまで、夏季はクールビズ、冬季はウォームビズを実施してきましたが、2023年6月より年間を通しビジネスカジュアルを導入いたしました。

また、冷暖房については、適切な温度設定に努めております。

【地域の環境活動】

- ◆伊達市 館山町マリーゴールド植栽活動
- ◆洞爺湖町・壮瞥町
「とうや湖ぐるっと彫刻公園」清掃活動
- ◆室蘭市 知利別川清掃活動
- ◆登別市 若草町・新生町清掃活動



【電力使用量の削減】

省資源・省エネルギー対策の一環として、本支店の照明のLED化を計画的に進めています。

また、設備機器の入替にあたっては、使用電力量の見直しを行い、電力削減に努めています。

【環境保全に取り組むお客様へのご支援】

- ◆マイカーローン
「カーライフプラン・エコ」は、エコカーを購入する場合、保証料を優遇しています。
- ◆グリーン私募債
私募債の発行にあたり、発行金額の0.3%相当額を、脱炭素への取組みに寄付しています。
- ◆省エネ・地域パートナーシップ
資源エネルギー庁が取り組んでいる「省エネ・地域パートナーシップ」にパートナー金融機関として参加し、中小企業の省エネ支援を行っています。

【グリーンボンドへの投資】

地球温暖化をはじめとする環境問題の解決に資する再生可能エネルギー事業等の資金を調達するために、自治体や企業等が発行する債券(グリーンボンド)への投資を行っています。

【ペーパーレス化への取組み】

◆通帳レスアプリ

2023年9月より、普通預金の通帳をペーパーレス化いたしました。

◆定期積金

2024年7月より、定期積金の通帳および証書をペーパーレス化いたしました。

◆出資証券

2019年8月より、普通出資証券をペーパーレス化いたしました。

◆各種資料

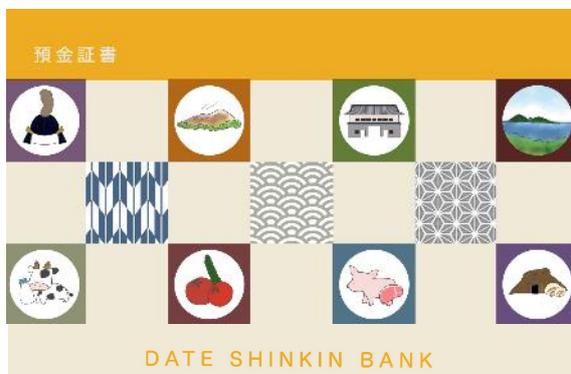
会議資料や内部書類のペーパーレス化や両面印刷などにより、コピー用紙の使用量削減に取り組んでおります。

【カーボンオフセット通帳の導入】

地球温暖化防止への取組みとして、カーボンオフセットの仕組みを利用した通帳を採用しています。通帳の作成工程で発生するCO₂(カーボン)を排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資することにより、相殺(オフセット)させています。

【証書ケースの紙製化】

環境省の「プラスチック・スマート」に対応する取組みとして、ビニール製の定期預金証書ケースを紙製に切り替えました。



【SDGs 宣言】

「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する。」の経営理念のもと、地域貢献活動や地域行事への積極的な参加、地域やお客様の課題解決支援の取り組み等を通じて、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。